

エコアクション21

環境経営レポート

2022年度

(2022年4月1日～2023年3月31日)



茨城トヨタ自動車株式会社

発行日：2023年07月25日

目次

1. 会社概要	P 1
2. 対象範囲	P 2～4
3. 環境方針	P 5
4. 環境目標と実績	P 6
5. 環境計画	P 7～9
6. 環境計画の取組結果・評価 及び今後の活動計画	P 10～13
7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果並びに違反・訴訟等の有無	P 14
8. 代表者による全体評価と見直し	P 15

1.会社概要

事業者名	茨城トヨタ自動車株式会社
事業内容	新車販売、レクサス事業、フォルクスワーゲン事業 U-Car（中古車）の販売 自動車点検整備 各種保険販売、情報通信事業（携帯電話の販売）
創業	1943年2月 茨城県自動車配給株式会社として設立 1948年9月 茨城トヨタ自動車株式会社と社名変更 以後現在に至る
本社住所	水戸市千波町1887 〒310-0851 TEL.029-241-1511（代） FAX.029-241-1633 https://www.ibaraki-toyota.jp/
代表者	代表取締役社長 幡谷 史朗
資本金	5,000万円
営業拠点	トヨタ車販売44店舗、 U-Car販売5店舗、 レクサス2店舗、レクサスCPO1店舗、フォルクスワーゲン2店舗、 GR Garage1店舗、本社
その他	茨城トヨタ自動車労働組合



2023年3月末現在

年間売上高	533億9600万円
新車販売台数	9,144台
U-Car販売台数	7,420台
整備在庫台数	297,866台
従業員数	1,085名（2023年3月末現在） 平均年齢 39.2歳 営業スタッフ32%、整備スタッフ43%、事務スタッフ25%



2.対象範囲

(1) 対象組織：下記全店舗・全組織

(2) 対象活動：自動車販売、自動車点検整備、各種保険販売、情報通信事業（携帯電話の販売）

	店名	従業員数	住所	郵便番号	電話	工場資格	新車中古車併売
1	本社	128	水戸市千波町1887	310-0851	029-241-1511		
2	日立	26	日立市大久保町3-2-25	316-0012	0294-37-1181	指定	○
3	土浦	23	土浦市下坂田1760	300-4113	029-822-3311	指定	○
4	下館	21	筑西市神分205-1	308-0063	0296-22-5241	指定	○
5	古河	25	古河市西牛谷60	306-0233	0280-98-1181	指定	○
6	大子	13	久慈郡大子町池田1564	319-3551	0295-72-1171	指定	○
7	藤代	19	取手市谷中76	300-1532	0297-83-7111	指定	○
8	牛堀	13	潮来市上戸343	311-2435	0299-64-2221	指定	○
9	水海道	15	常総市豊岡町丙476	303-0041	0297-27-1181	指定	○
10	神栖	26	神栖市知手3011-26	314-0115	0299-96-5001	指定	○
11	下妻	17	下妻市小島869-1	304-0051	0296-43-1333	指定	○
12	高萩	13	高萩市高浜町3-8-3	318-0013	0293-23-6111	指定	○
13	大宮	13	常陸大宮市下村田2375	319-2131	0295-53-1131	指定	○
14	勝田	22	ひたちなか市稲田955-2	312-0061	029-285-5161	指定	○
15	石岡	11	石岡市北府中3-2-45	315-0012	0299-24-1105	指定	○
16	鉾田	13	鉾田市滝浜344-9	311-1423	0291-37-2121	指定	○
17	笠間	12	笠間市笠間767	309-1611	0296-72-6111	指定	○
18	水戸泉町	12	水戸市泉町2-3-24	310-0026	029-231-1181	指定	○
19	水戸千波	26	水戸市千波町1887	310-0851	029-241-1122	指定	○
20	牛久	21	牛久市猪子町995-153	300-1231	029-872-9151	指定	○
21	守谷	17	守谷市本町218-7	302-0109	0297-48-5111	指定	○
22	結城	15	結城市小田林2087-1	307-0007	0296-33-2101	指定	○
23	土浦南	18	土浦市永国757	300-0817	029-823-0181	指定	○
24	日立北	17	日立市田尻町4-36-4	319-1416	0294-43-5311	指定	○
25	水戸赤塚	20	水戸市大塚町1852-1	311-4143	029-253-1121	指定	○
26	竜ヶ崎	11	龍ヶ崎市中根台3-10-3	301-0002	0297-60-2828	指定	○
27	江戸崎	15	稲敷市江戸崎甲571-1	300-0504	029-892-6711	指定	○
28	勝田東	20	ひたちなか市中根3326-2	312-0011	029-275-3311	指定	○
29	北茨城	13	北茨城市関南町神岡下360-1	319-1715	0293-46-2888	指定	○
30	境	14	猿島郡境町38-4	306-0433	0280-87-3551	指定	○
31	つくばみどりの	17	つくば市谷田部2416-45	305-0847	029-839-3381	指定	○
32	鹿島	21	鹿嶋市大船津3870	314-0036	0299-83-2217	指定	○
33	石下	14	常総市新石下1581	300-2706	0297-42-0399	指定	○
34	美野里	14	小美玉市西郷地1568-1	319-0102	0299-48-3211	指定	○
35	岩瀬	13	桜川市西桜川2-22	309-1213	0296-76-2511	指定	○
36	小川	13	小美玉市田木谷1-1	311-3435	0299-58-6211	指定	○
37	土浦北	20	土浦市東中貫町1-8	300-0006	029-832-6811	指定	○
38	つくば中央	27	つくば市竹園2-19-5	305-0032	029-855-3611	指定	○
39	取手	15	取手市寺田5038	302-0021	0297-71-2020	指定	○
40	水戸大洗インター	13	水戸市東前1丁目48	311-1136	029-240-5566	指定	○
41	常陸太田	14	常陸太田市馬場町353-1	313-0004	0294-80-3611	指定	○
42	ひたち野うしく	22	牛久市ひたち野東2-1-8	300-1207	029-880-3111	指定	○
43	友部	15	笠間市住吉1361-1	309-1716	0296-71-2111	指定	○
44	石岡6号	14	石岡市東大橋3151-14	315-0031	0299-28-1201	指定	○
45	古河東	16	古河市諸川650-1	306-0126	0280-75-1051	指定	○
46	レクサス水戸	29	水戸市笠原町1515-1	310-0852	029-305-1515	指定	○
47	レクサス守谷	20	つくばみらい市筒戸3350-1	300-2435	0297-25-3535	指定	○
48	レクサスCPO水戸	7	東茨城郡茨城町前田1703-1	311-3115	029-362-0505	認証	
49	VW水戸インター	21	水戸市河和田3丁目2321-2	311-4152	029-255-5655	指定	○
50	VW土浦	15	土浦市木田余3311-1	300-0006	029-832-6655	指定	○
51	水戸南センター	10	水戸市酒門町3210-2	310-0841	029-248-2633	認証	
52	東海センター	8	那珂郡東海村舟石川652-15	319-1111	029-287-2811	認証	
53	竜ヶ崎センター	10	龍ヶ崎市新柴町662-1	301-0007	0297-64-5100	認証	
54	バン・トラックセンター	4	水戸市東前1丁目60	311-1136	029-240-5557		
55	つくば谷田部センター	7	つくば市榎戸441-1	305-0853	029-837-1511	認証	
56	GR ガレージ水戸けやき台	6	水戸市酒門町3210-2	310-0841	029-304-2686	認証	○
	合計	1014					

茨城トヨタ自動車株式会社

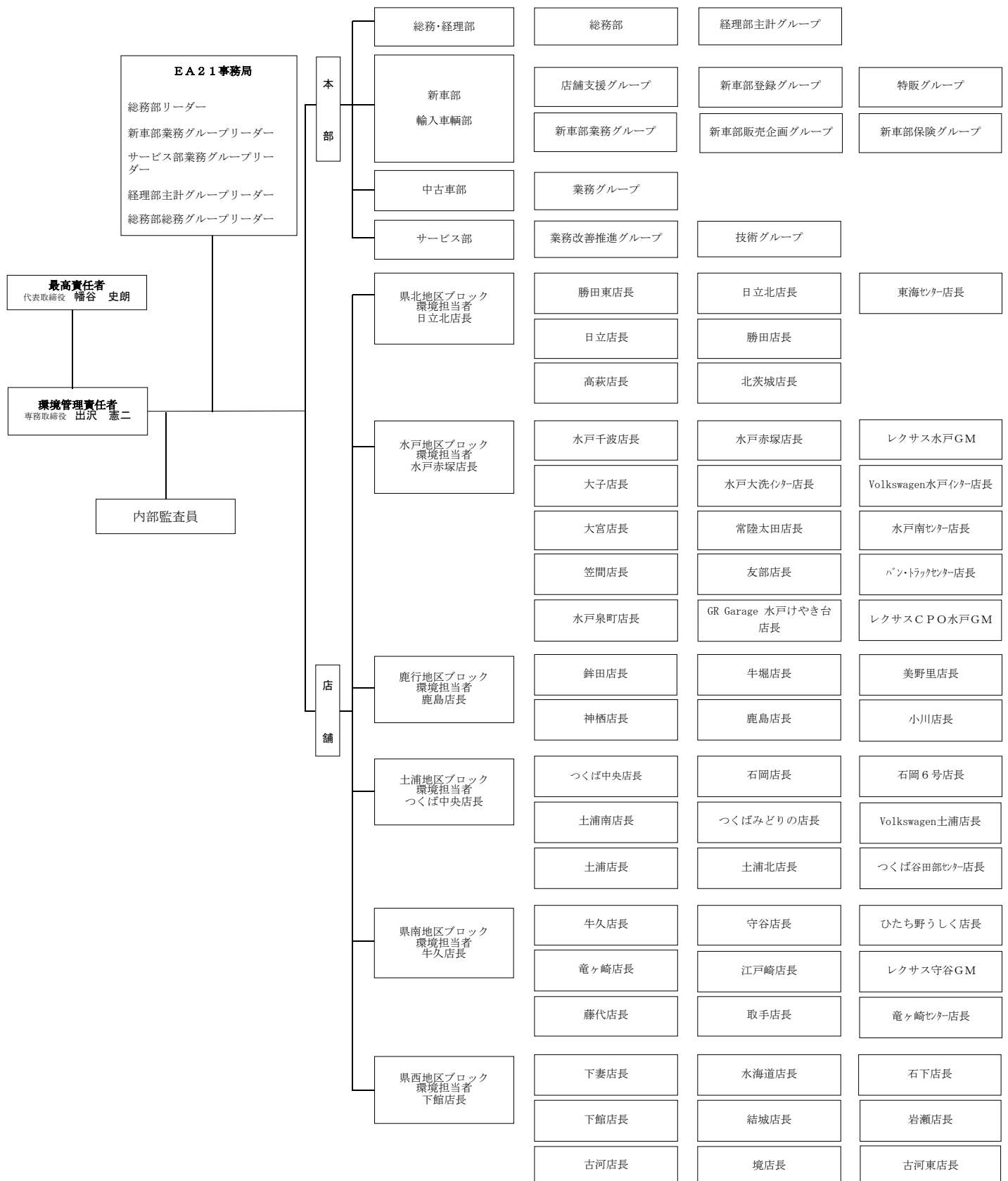
環境管理実施体制

環境管理実施体制(組織図)

EA21推進委員会:環境管理責任者が主催しEA21事務局員参加(月1回)
 ブロック会:ブロック長が主催し各ブロック構成員が参加(月1回)

〈部門長〉

〈環境担当者〉



推進組織の役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
最高責任者	・環境経営に関する統括責任。 ・環境経営システムの実施に必要な 人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備。 ・環境管理責任者を任命。 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知。 ・環境目標・環境活動計画書を承認。 ・代表者による全体の評価と見直しを実施。 ・環境活動レポートの承認。
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理。 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認。 ・環境目標・環境活動計画書を確認。 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告。 ・環境活動レポートの確認。 ・EA21推進委員会を主催する(月1回)。推進委員会では、年度環境目標、活動計画、環境関連法規制等の遵守状況を報告するとともに、問題点の有無を報告する。問題点が発生した場合は、対応策を検討し、実施する。 ・年度計画に従いEA21に関する教育を実施する。
EA21事務局	・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局。 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施。 ・環境目標、環境活動計画書原案の作成。 ・環境活動の実績集計。 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成。 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施。 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口。 ・環境活動レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付) ・年度計画に従い、EA21に関する各種教育を行う。
部門長・店長	・自部門における環境経営システムの実施。 ・自部門における環境方針の周知。 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施。 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告。 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理。 ・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成 ・テスト、訓練を実施、記録の作成。 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施。 ・各ブロック長が主催するブロック会を開催する(月1回)。
内部監査員	・店舗巡回により内部監査チェックを実施。 ・環境関連法に違反がある場合や、環境の取り組みが不適切な場合は、改善措置を求める。
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚。 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加。

3.環境経営方針

〈 基本理念 〉

茨城トヨタ自動車株式会社は、地域社会への感謝を忘れず、お客様からの信頼を大切にし、地域みなさんに愛され選んでもらえる会社を目指し、全社員一丸となって積極的にEA21環境活動に取り組みます。

〈 行動指針 〉

- 1 私たちは、環境保護に関するすべての法律・条例・規則を遵守します。
- 2 私たちは、節電、節水など省資源・省エネルギー活動に積極的に取り組みます。
- 3 私たちは、自動車の運転において、不要なアイドリング・急発進・急加速をしません。エコドライブにより使用する燃料を減らし、二酸化炭素の排出量を削減します。
- 4 私たちは、廃棄物の分別を徹底し、リサイクルを促進して廃棄物排出量の削減に努めるとともに、化学物質の適正な管理を実施します。
- 5 私たちは、お客様にエコカーや低燃費タイヤ等、お車に関する環境情報を提供し、環境配慮型製品の普及促進に努めます。
- 6 私たちは、事務用品の購入時等には、グリーンマーク商品を積極的に購入します。
- 7 私たちは、地域社会とのコミュニケーションを大切にし、地域の環境保護活動に積極的に協力します。
- 8 私たちは、自動車の高性能化による代替サイクルの長期化という課題に対して、衝突回避支援システム等の安全装置の機能向上による代替率アップを目指し、同時に低燃費車(HVやPHV)の増販により環境負荷の低減に協力します。

平成25年5月17日制定

平成27年5月10日改訂(追加)

令和元年4月1日改訂(追加)

茨城トヨタ自動車株式会社

代表取締役社長

幡谷 史朗

4.環境経営目標

<中長期環境目標>

項目	単位	基準値 (2021年度実績)	2022年度目標	2023年度目標	2024年度目標
※二酸化炭素排出量	kg-CO2	4,667,190	4,667,190	4,667,190	4,667,190
電気使用量	kWh	4,808,134	4,808,134	4,808,134	4,808,134
ガソリン	ℓ	921,378	921,378	921,378	921,378
軽油	ℓ	117,560	-	-	-
灯油	ℓ	18,840	-	-	-
ガス	kg	1,978	-	-	-
省燃費オイル交換の推進	ℓ	659,588	659,588	659,588	659,588
一般可燃ゴミ	kg	116,450	116,450	116,450	116,450
廃プラ	m ³	400	400	400	400
水道水	m ³	38,493	38,493	38,493	38,493
環境対応車HV・PHV販売台数	台	4,283	4,283	4,283	4,283
プロケア10. 12法点検	台	107,806	107,806	107,806	107,806
化学物質 (LLC)	ℓ	48,700	48,700	48,700	48,700
汚泥	t	174,530	174,530	174,530	174,530

※二酸化炭素排出係数：2021年度の0.451kg-CO₂/kWhを当分の間使用（東京電力2023年5月26日訂正）

5.環境経営活動計画

●CO₂排出量の削減に向けた取り組み

1、電気使用量の削減 責任者：店長

- ① 空調関係 担当者：サービスマネージャー
- エアコンの温度設定 [冷房] 28℃ [暖房] 20℃を徹底する
 - 空調機の運転開始時間を30分ずらして、電気使用量の急激な上昇をおさえる
 - フィルターの定期的（冷暖房切替時）な清掃を行う
 - 扇風機を活用する
 - クールビズの実践 （6月1日～9月30日）
- ② 照明関係 担当者：カスタマーアシスタント
- ショールーム・事務所は、業務に支障のない範囲で部分消灯する
 - 窓のあるトイレは、昼間照明はつけない
 - 19時以降お客様のご来店のない場合は消灯し、必要なところのみ点灯する
 - 照明器具交換時は、LED電球を使用する
 - 看板（広告塔）の消灯は、午後9時とする
- ③ 電気機器関係 担当者：新車マネージャー
- パソコンは、長時間席を離れる・使用しない場合は、電源を切る
 - ノートパソコンは、席を外すときはフタを閉める
 - 誰も見ていないテレビは、スイッチを切る
 - 冷蔵庫の温度設定を、強→中に変更する
 - パソコン、コピー機、プリンターは、帰宅時着実に主電源を切る
 - 給湯器は夏季（5月～10月）は、停止する
 - 暖房便座は夏季（5月～10月）は、スイッチを切る
 - 暖房便座は、常時フタを閉め、帰宅時にはスイッチを切る
 - サービス工場のコンプレッサーは、終業時にはスイッチを切る

2、ガソリン使用量の削減 責任者：店長

- 省エネ運転に努める
- 担当者：新車マネージャー
- ・停車中エンジンをかけっぱなしにしない
 - ・不要なアイドリングはしない
 - ・急発進急加速をしない
 - ・不要な荷物は乗せない
 - ・タイヤの空気圧をチェックする
 - ・ガソリン使用者の燃費一覧表で、省エネ運転の意識を高める



- 3、軽油使用量の削減 責任者：店長／担当者：サービスマネージャー
 ○お客様のご来店(車輛の持込み)を促進し、車輛の引取り・納車を減らし
 車輛積載車や送り迎えの車輛の使用頻度を抑える。
- 4、灯油使用量の削減 責任者：店長／担当者：サービスマネージャー
 ○エンジンルームや足回り洗浄は、お客様のご要望を確認し、
 高圧温水洗浄機の使用を抑える。
- 5、LPG使用量の削減 責任者：店長／担当者：カスタマーアシスタント
 ○4月～10月は、LPG給湯器の使用を停止する。
- 6、廃棄物の削減・適正処理 責任者：店長
 ① 一般廃棄物 担当者：カスタマーアシスタント
 ○紙(段ボール、新聞、雑誌、カタログ)、空き缶(アルミ・
 スチール)ガラス瓶、電池の分別を徹底して、リサイクルを促進する
- ② 産業廃棄物 担当者：サービスマネージャー
 ○鉄、アルミ、廃プラスチック、ガラスくず、発炎筒等の分別を徹底して
 リサイクルを促進する。
- 廃棄物置場に管理者を明記した看板(60cm×60以上)を、
 設置し管理者は適正に保管されているか
 毎日確認する
- 7、化学物質の使用管理 責任者：店長／担当者：サービスマネージャー
 ○LLCの表示を徹底し、タンクへ適正に
 保管され漏洩のない構造を確認する
- 8、水道使用量の削減 責任者：店長／担当者：カスタマーアシスタント
 ○蛇口に節水コマ(適量の水を流す機能)を設置する
 ○水道配管からの漏水を、月々の水道使用量明細でチェックする



- 9、排水処理の管理 責任者：店長／担当者：サービスマネージャー
- 油水分離槽を月1回定期的にフタを開けて点検する
 - 油水分離機の圧力計が規定値になったら、メンテナンス業者へ連絡しフィルターの交換をする
 - 油水分離機を定期的に手動スイッチで作動させ、適正に排水処理されているか確認する

- 10、環境配慮型製品の積極的な推販 責任者：店長
- ハイブリッド車の販売促進 担当者：新車マネージャー
 - 省燃費オイル・ECOタイヤの販売促進
 - プロケア10、12法点検の推進 担当者：サービスマネージャー

- 11、社会貢献活動 責任者：店長
- 店舗周辺（左右300m位）の清掃活動（1回/月）を実施する 担当者：サービスマネージャー
 - 「子どもと女性を守る110番の会社」
として安心安全の街づくり運動に協力する 担当者：新車マネージャー



6.環境活動の取組結果・評価及び今後の活動計画

I 環境取組結果

取組項目	単位	2022年度 目標	2022年度 実績	達成率 (%)	評価
二酸化炭素排出量 CO ₂	kg-CO ₂	4,667,190	4,431,206	105	○
電気使用量	kWh	4,808,134	4,726,034	102	○
ガソリン	ℓ	921,378	980,885	94	△
軽油	ℓ	-	127,449	-	-
灯油	ℓ	-	15,799	-	-
ガス	kg	-	1,035	-	-
省燃費オイル交換の推進	ℓ	659,588	669,540	102	○
一般可燃ゴミ	kg	116,450	113,898	102	○
廃プラ	m ³	400	457	88	×
水道水	m ³	38,493	40,384	95	△
環境対応車HV・PHV販売促進	台	4,283	4,920	115	○
プロケア10、12法点検	台	107,806	108,936	101	○
化学物質 L L C	ℓ	48,700	46,330	105	○
汚泥	t	157	174	90	△

注1) : 活動計画の削減項目では、達成率=2022年度の目標/2022年度の実績×100%で計算。

注2) : 活動計画の増加項目では、達成率=2022年度の実績/2022年度の目標×100%で計算。

注3) : 評価は、○:100%以上、△:90%以上100%未満、×:90%未満で表示。

II 取り組み結果の評価 (○△×)

◆二酸化炭素の削減◆

2022年度目標に対し、105%と達成することができた。
個別項目別のコメントは以下の通り。

◆電気使用量の削減◆

2022年度目標に対し、102%と達成することができた。

※達成の要因

○空調関係では、温度設定（冷房28℃、暖房20℃）が徹底できた。

今年度も、コロナ対策で換気を意識しての温度設定の調整が上手くいった。

△目標基準値であった2013年度から9年間で新規オープン4店舗、

移転オープン3店舗増床し電気使用量が増加した。

△本年度は、2022年11月 レクサスCPO水戸を新設した。

※課題

△2022年度は、熱中症対策の為、サービス工場15店舗へ冷房機器を設備。

次年度も、サービス工場12店舗へ冷房機器を設備する予定。

更なる省エネルギー対策が必要。

節電営業中です

○照明を一部消灯させていただきます。

○店内の空調も通常より高めの
温度設定にさせていただきます。

○クールビズによりノーネクタイにて
失礼いたします。



茨城トヨタ自動車(株) 〇〇〇店

＊今後の対策

- エアコンのコントロールスイッチの貼紙に夏28℃冬20℃と大きく吹き出しを付けて注意喚起する。
- サーキュレーターを活用し、空気を循環させて冷暖房の効率を上げる。
- LED照明器具への切替を促進する。



◆ガソリン使用量の削減◆

2022年度目標に対し、94%と達成することができなかった。

＊達成できなかった要因

- ×新車販売促進や点検整備の効率向上の為、試乗車、サービス代車等を増やしたことによりガソリンの使用料が増加した。
- ×昨年度よりお客様への訪問軒数が増えた為、移動用のガソリン使用料が増加した。

＊今後の対策

- 訪問活動は、事前にルート計画を立てて効率の良い移動を行う



◆省燃費オイルの積極的な推販◆

2022年度目標に対し、102%と達成することができた。

＊達成の要因

- 省燃費オイルについてお客様への説明が適切に出来ていた。

◆一般可燃ごみの削減◆

2022年度目標に対し、102%と達成することができた。

＊達成の要因

- 日頃より分別を意識し、一般可燃ごみが少なくなるよう皆で心がけた。

◆廃プラスチックの削減◆

2022年度目標に対し、88%と達成することができなかった。

＊達成できなかった要因

- ×どうしても、通常の交換部品による廃棄で一定数出てしまう上、リコールによる作業で出る部品の廃棄等で廃棄量が増加してしまった。

＊今後の対策

- 廃プラスチックと他の分別を徹底する。

◆水道使用量の削減◆

2022年度目標に対し、95%と達成することができなかった。

＊達成できなかった要因

△日頃から節水を心掛けてはいるが、洗車等で使用量が増加した。

◆環境対応車HV／PHVの積極的な推販◆

2022年度目標に対し、115%と達成することができた。

＊達成の要因

○昨年度より新車の販売台数が増加し、併せてHV/PHVの比率も増加した。

＊今後の対策

■HV車は低燃費だけでなく非常時のAC電源供給手段としての側面も併せもつことから、通常の商談はもとより、イベント等でもお客様にHV車のメリットを訴求し、拡販していきたい。

◆プロケア10、12法点検の積極的な推販◆

2022年度目標に対し、101%と達成することができた。

＊達成できた要因

○タイヤやエンジンオイルなど点検10項目のプロケア10と12法点検の案内・説明が適切にできている。

◆化学物質の使用管理◆

LLCは、2022年度目標に対し、105%と達成することができた。

＊達成の要因

○長寿命LLCを充填した新車の増加により、交換作業が減少した。

◆排水処理の管理◆

○油水分離機の定期点検を徹底して行った。

◆汚泥の削減◆

2022年度目標に対し、90%と達成することができなかった。

＊達成できなかった要因

×車検以外の足回りの洗車では、お客様のご要望を確認することで削減を試みたが、思うように削減することが出来なかった。

◆社会貢献活動◆

- 里親制度に参加してプランターや花壇に季節の花を植えている。
- 店舗周辺の清掃活動を毎月実施している。
- オオキンケイギクの除草ボランティア(3名参加)。
【2022年5月28日実施】



Ⅲ 取り組みについての今後の課題

- 今回目標を達成できた要因の中には、働き方の変革による労働時間の減少が少なからず影響していると思われる。
- 空調関係のできなかったところは、制御盤・スイッチ場所に取り組み事項と担当者名を明記し貼付けることで、意識の徹底を図る。

Ⅳ 今後の活動計画

- まだ定着出来ていない、環境経営方針を計画的に目標を立て経営力を向上させる。
- 地球温暖化防止、異常気象、豪雨災害の対策として一人ひとりの地道な取り組みの必要性を会議や店舗の朝礼等で繰り返し徹底していく。

7.環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果並びに違反・訴訟等の有無

(1) 当社に適用となる主な環境関連法規制等

	法律・条例等	要求事項	評価
基本	環境基本法	○ばい煙、汚水、廃棄物等の処理その他の公害防止 自然環境の保全に必要な処置を講ずる	○
	温暖化対策推進法	○温室効果ガス排出の抑制に努める	○
水質	水質汚濁防止法	○公共用水域に排水する特定施設の設置届出	○
	下水道法	○下水道への不適物放流禁止の遵守	○
	浄化槽法	○保守点検ならびに水質検査の実施	○
騒音	騒音規制法	○規制基準の遵守 ○騒音発生施設の設置の届出	○
振動	振動規制法	○規制基準の遵守 ○振動発生施設の設置の届出	○
廃棄物	廃棄物処理法	○産業廃棄物保管基準の遵守 ○産業廃棄物の運搬・処分等の委託の基準の遵守 ○管理票（マニフェスト）の交付・保管 ○管理票（マニフェスト）の交付状況の報告	○
再資源化	自動車リサイクル法	○使用済自動車の廃棄引渡義務の履行	○
フロン	フロン排出抑制法	○第一種特定製品の管理者の義務	○
その他	消防法	○指定数量内貯蔵の厳守 ○防火管理者の選任	○
	労働安全衛生法	○危害防止基準の確立及び健康障害防止措置	○
	茨城県生活環境の保全 等に関する条例	○事業活動に伴う公害の防止	○
	廃棄物の適正な処理の 促進に関する条例（市や県）	○廃棄物の適正な処理の促進	○
	トヨタ販売店CSR ガイドライン	○トヨタ販売店として環境面他のCSR事項	○

(2) 遵守状況及び違反、訴訟等の有無

○関係当局より本年度も違反等の指摘はありませんでした。

8.代表者による全体評価と見直し

＜環境経営活動の評価＞

本年度も半導体不足が続き、トヨタ自動車の生産増減に大きな影響を受けた一年でした。

上期は減産が続き新車登録は前年の約2割減、一方下期はメーカーによる登録最大化施策により、前年の約2割増となりました。

このような環境の中で、二酸化炭素の排出は達成する事が出来ました。ガソリン使用量こそ増加しましたが、電気使用量は若干減らすことが出来ました。要因としては店舗での換気を意識しての温度調整やLED化が進んできたことが起因していると思われます。

また、環境経営活動については、電気使用量の削減、省燃費オイル交換の推進、一般可燃ゴミの削減、プロケア10、12法点検の増販、化学物質LLCの削減を達成する事が出来た半面、廃プラスチックの削減をする事が出来ませんでした。要因として、サービス部門において、リコール等で部品の廃棄が増加した事があげられます。

また、新車部門においては、目標に対し低燃費車（HVやPHV）の販売を増やすことが出来ました。

＜今後の対応＞

次年以降も、店舗建替えや電気照明の修繕は、LED化を進めエネルギー消費CO2排出の削減と快適な職場を両立出来るよう、順次導入を検討しております。

新車の販売においては、低燃費車（HVやPHV）の増販に期待します。

地域やお客様のお役に立つことは何かを常に考え、実行することで、成長を図り、社員一人ひとりが地球に優しい経営への意識を高め、日々取り組んでまいります。

＜代表者の指示＞

項目	指示内容
環境経営方針	変更の必要はなく継続して下さい
環境経営目標	変更の必要はなく継続して下さい
環境経営計画	変更の必要はなく継続して下さい
環境管理実施体制	変更はない

